

令和7年度 第10回政策推進会議報告

日 時 10月 8日 9時30分～10時10分

場 所 WEB会議室

出席者 17人

1 窓口受付時間の短縮について

総務局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

2 その他

○総合政策局長から、アルカニックフェスティバルの開催について説明。

○総合政策局長から、尼崎薪能の開催について説明。

○総合政策局長から、A-LAB Artist Gate'25の開催について説明。

○総務局長から、障害者雇用促進法に基づく、障害者活躍推進計画の進捗状況等の公表について説明。

- ・（市長）対象は事務補助員に限られているのか。例えば、現業的な業務などは対象外なのか。
- ・（総務局）作業としては実際、道路のお掃除などを「ハートフルオフィス up×3」で請け負うことはできるが、職員の体力的な状況などを踏まえて対象外としている。また、補足になるが、会計年度任用職員だけでなく、正規の職員も障害者枠は広げており、平成31年度からは精神障害のある方の採用も進めている。
- ・（市長）局が業務の切り出しを考える際は、総務局に相談しながら、手を挙げる方の体力的なものや障害の特性を見つつ、マッチングしていく形である。法定の雇用率や障害者雇用の促進、インクルーシブな職場環境づくりという視点もあるので、各局は募集に向けて局内で議論し、手を挙げていただくようお願いしたい。
- ・（吹野副市長）「ハートフルオフィス up×3」が始まる前に、障害福祉の方でチャレンジ事業があったと思うが、これは「ハートフルオフィス up×3」に統合されているという理解で良いか。
- ・（福祉局）「ハートフルオフィス up×3」ができた当初1、2年間は両制度が並立的にあったが、取り組んでいる内容がほぼ同じように重複していたこと、仕事内容についてまとめていくことが非効率的であったことから、庁内的に議論をして廃止したという経緯がある。

○教育次長から、地域クラブ特設ホームページの開設について説明。（以下、質疑等）

- ・（教育長）地域クラブ化は、「戦後の学校教育の大改革の一つ」と認識している。放課後の子どもの過ごし方や生徒指導など時代に応じたアップデートが必要であり、相当の課題があると考えている。周知や担い手確保など、全庁的な連携が不可欠であるため、今後とも協力をお願いしたい。
- ・（市長）これまでも会見等で繰り返し発言してきたが、移行期・移行後ともに不安の声は多いと思う。一つ一つ丁寧に乗り越えていくしかないので、引き続き頑張っていただきたい。

○教育次長から、尼崎市立歴史博物館第5回特別展「豊臣期の尼崎と建部氏三代」の開催について説明。

○教育次長から、令和7年度尼崎市立歴史博物館田能資料館後期企画展「ワンちゃんたちのプロフィール—縄文から古墳まで—」説明。

- ・（市長）田能資料館の企画展を今後見に行く予定であるが、同資料館は歴史博物館の分館的な扱いで、体制が弱く、情報発信に限界があるように感じる。アクセスも悪く注目されにくい状況ではあるが、学芸員が細々と頑張っているため、ぜひ市民に足を運んで応援してほしい。

以 上